




## 地震から身を守る

### ▶地震が発生したときの行動

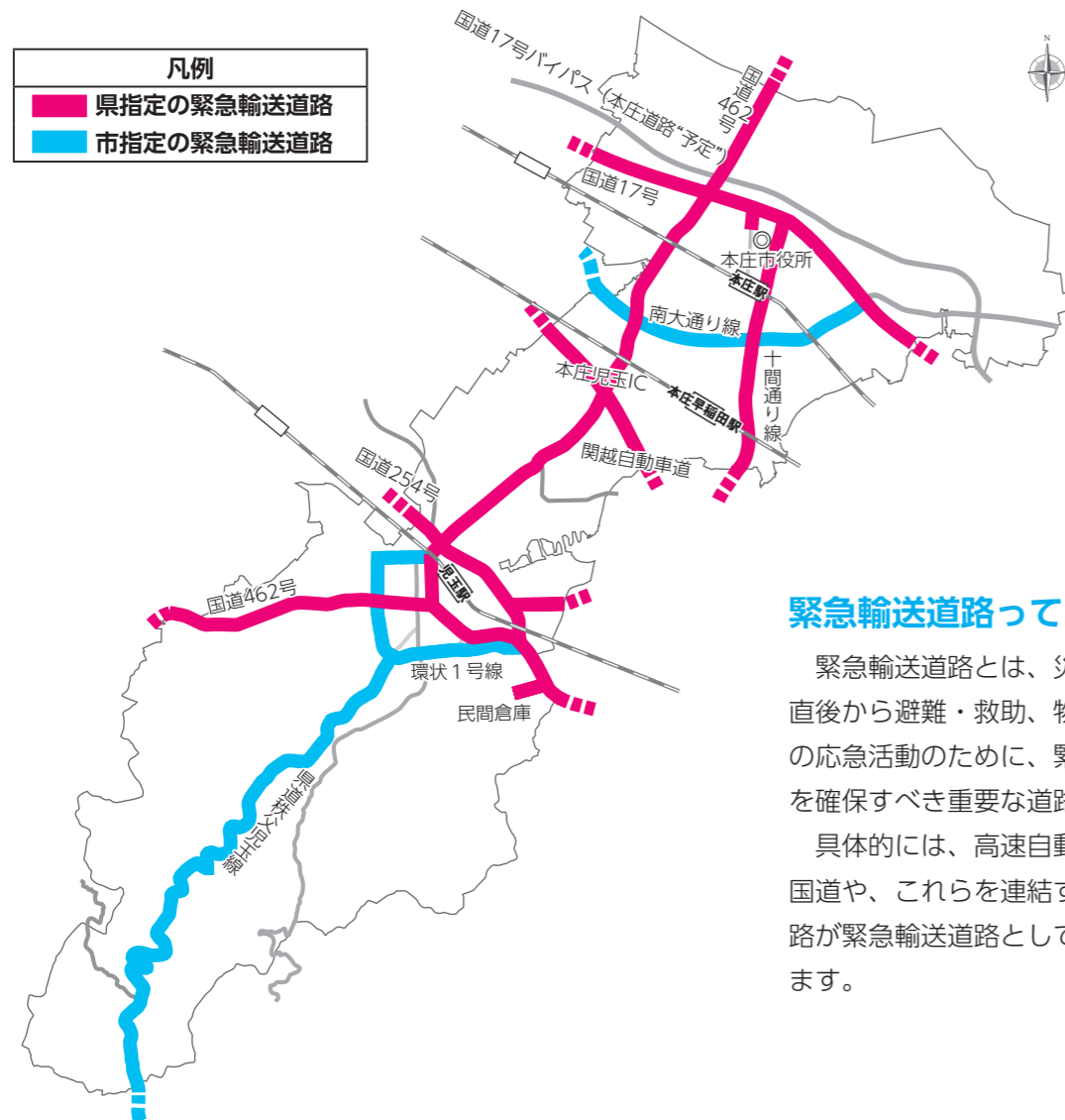
自身と家族の安全を確保	火元を確認	出口を確保
家具などが倒れてきても安全な場所に身を隠しましょう。屋外の場合、塀、がけ、狭い路地などには近づかないようにしましょう。 	火は消しましょう。火災が発生したら、落ち着いて初期消火をしましょう。 	戸を開け、避難口の確保をしましょう。家の中でもガラスの破片が散乱します。動くときは靴や厚手のスリッパを履きましょう。 



ハザードマップや本庄市防災ガイドブックでも確認してみましょう。

### ▶災害時の緊急輸送道路の通行を確保する

市内には、県指定と市指定の緊急輸送道路があります。緊急輸送道路の沿線地域の不燃化、耐震化に努め、地震による建築物、塀の倒壊や災害廃棄物等の障害物をなくしていきましょう。



#### 緊急輸送道路ってなに？

緊急輸送道路とは、災害が発生した直後から避難・救助、物資の供給などの応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路です。

具体的には、高速自動車国道、一般国道や、これらを連結する幹線的な道路が緊急輸送道路として指定されています。

## 災害から身を守るために




大雨や台風、地震など、いざという時のために日頃から防災情報収集や事前の備えを行いましょ。

★危機管理課 ☎25-1184  
建築開発課 ☎25-1140

## 大雨・台風から身を守る

### ▶避難の種類を確認する



高い ◀ 避難検討の優先度 ▶ 低い

①在宅避難	②親戚・知人宅等への避難	③身近な避難所への避難
ハザードマップを見て、浸水する可能性や土砂災害の危険性がないか確認してみましょう。 	災害が起きた場合、受け入れが可能か相手先に確認・相談してみましょう。 	災害時に開設された避難所を確認し、避難しましょう。 

### ▶避難の情報を確認する

警戒レベル	新たな避難情報	これまでの避難情報
<b>5</b> 災害発生または切迫	<b>緊急安全確保</b> 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。 警戒レベル4までに必ず避難	災害発生情報
<b>4</b> 災害のおそれが高い	<b>避難指示</b> 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。	避難指示（緊急） 避難勧告
<b>3</b> 災害のおそれ有り	<b>高齢者等避難</b> 高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備、自主的に避難するタイミングです。	避難準備・高齢者等避難開始
<b>2</b> 気象状況悪化	<b>大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）</b>	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
<b>1</b> 今後気象状況悪化のおそれ	<b>早期注意情報（気象庁）</b>	早期注意情報（気象庁）

### ▶浸水から避難するときのポイント

動きやすい服装	なるべく徒歩での避難	無理のない避難
荷物は最小限にして背負い、両手が見えるようにしましょう。長靴よりも運動靴がおすすめです。 	傘などを杖替わりにして、浸水して見えなくなっているくぼみや障害物に注意しましょう。興味本位で、増水した河川などの様子を見に行かないでください。 	水深50cmを超えると歩くことが困難になります。流れがある場合は、それ以下でも危険です。避難が遅れてしまったら、高い場所で助けを待ちましょう。